

北京師範大学学前教育研究所との共同研究について

七木田 敦

Collaborative research with the Institute of Early Childhood Education Research, Beijing Normal University

Atsushi NANAKIDA

北京師範大学学前教育研究所は、中国において最初に創立された就学前教育の専門教育研究機関であり、政府から委託された211もの就学前教育に関するプログラムを実施する重要な基地として知られている。同研究所はまた全国高等教育人文社会科学研究優秀成果賞、宝钢優秀教師賞などの国家レベルの研究賞を獲得し、「幼児心理学」、「児童遊戯通論」、「教師と児童発展」などの国内外でも影響力がある著作を出版している。スタッフは、霍力岩教授、李敏誼准教授、などの国内外に影響力のある研究者を始め、中国の伝統的な研究スタイルを保持しながら、積極的に新たな研究を中国国内で展開しており、現在中国における就学前教育の重要な拠点である。

同所所長である霍力岩教授は、1983年7月北京師範大学教育学部卒、1986年北京師範大学教育学修士号を取得、1996年北京師範大学教育学博士号を取得の経歴を持つ。1997年7月～12月アメリカ訪問研修、2000年1月～6月日本で客員研究員として共同研究を行っている。また2012年、2014年と広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設の招きで来日し、共同研究の打ち合わせや講演を行っている。専門は「就学前比較教育」、「就学前教育の評価」、「就学前児童認知の発展と教育」、「世界の幼児教育改革と発展」、「就学前教育の比較研究」、「就学前児童心理の発展と教育研究」、「中外教育改革の理論と実践」などである。

また2011年より、附属幼年教育研究施設との共同研究には、李敏誼准教授もかかわっている。同准教授は、「プレアからブランまで—イングランド幼児教育と保育政策の発展過程と新しい進展」、「模倣からイノベーションまでの

100年模索過程—中国就学前教育改革は新しい戦略調整期に入る—(霍力岩と李敏誼)」、「教育資料集刊第四十五集—2010 各国初等教育(幼児教育を含む)」、「国際就学前教育指標体系の確立の新しい情勢」などの研究で知られている。

2012年10月、広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設では、「保育者の専門性における大学の支援—中国・韓国・日本三カ国の現状から—」というテーマで、霍力岩教授、李敏誼准教授を招き、国際シンポジウムを開催した。これは、平成23年度の広島大学大学院教育学研究科共同研究プロジェクト推進経費の助成を受け、幼年教育研究施設が行った「保育者の専門性向上のための大学と保育現場の連携に関する研究」の一環として実施されたものである。ここでは保育の質の向上や保育者の専門性向上が求められるはなかで、大学の研究者と、保育実践者はどのように連携し、どのように寄与することができるのかを中心に協議した。研究者と実践者の協働、実践に資する成果を導くための、公開保育の指導助言、研修会講師、セミナーなど、従来附属幼年教育研究施設が取り組んできた試みだけでなく、中国や韓国での事例を参照し、相互に学術交流を実施するという事も諮られた。

また、2014年5月には北京師範大学において、“Early Childhood Education and Care Curriculum in University-district-school Partnership and Culture Blending: An International Symposium of Preschool in Three Culture’s Reform and Development, Research Institute of Early Childhood Education Beijing Normal University” というテーマで国際シンポジウムが開催され、附属幼年教育研究施設

設より、七木田敦教授、金子嘉秀助教が出席し、報告を行った。このシンポジウムの成果については、“Early Childhood Education in Three Cultures: China, Japan and the United States” (Liyun HUO, Susan B. NEUMAN, Atsushi NAKAKIDA) という図書として2015年に出版された。

さらに2014年11月、日本乳幼児教育学会が広島大学・附属幼年教育研究施設で開催されるに際し、霍力岩教授を招聘し、教育講演として「教

育における出発点（権利と機会）公平：中国における反貧困と子どもの早期発達：UDK（大学・地域・幼稚園）連携で保育者の専門性の向上を促す事例研究」として登壇をお願いした。

以上、附属幼年教育研究施設と北京師範大学学前教育研究施設とは、2011年より、幼児教育振興にかかわるカリキュラム研究、実践への支援の研究など多方面で協力関係を維持し、研究事業を進めてきている。